



よみ たん そん
 日本一人口の多い村 **読谷村**
 人口41,729人 (令和3年4月末)

85号 2021年3月
 定例会

議会だより

我公たより

★議会に一言★



バスケットができる
 ころをもっと増やして
 ほしいです。
 オンラインゲームクラ
 ブを作ってほしいです。

ほかま たいき
 題字：外間 奏行
 (喜名小学校6年)



主な内容

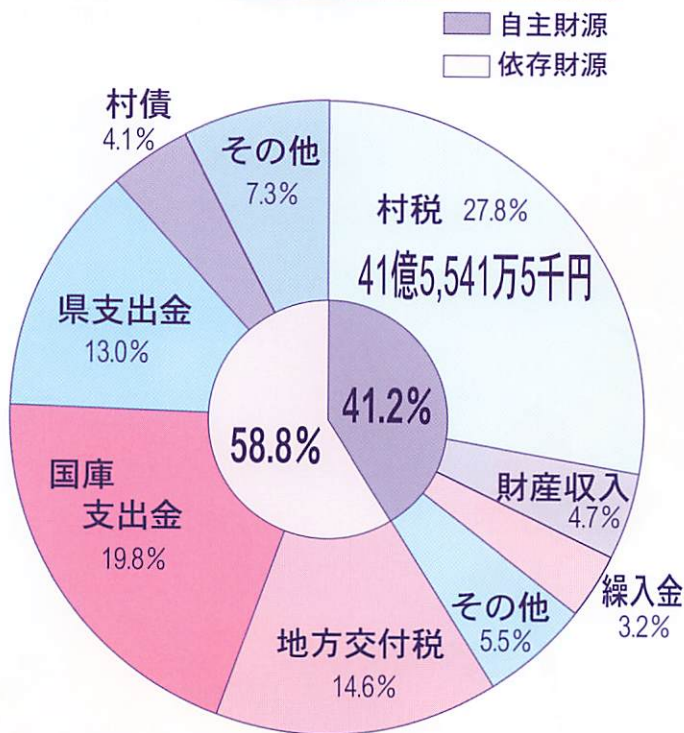
◎一般質問.....p8

2021年(令和3年6月発行)

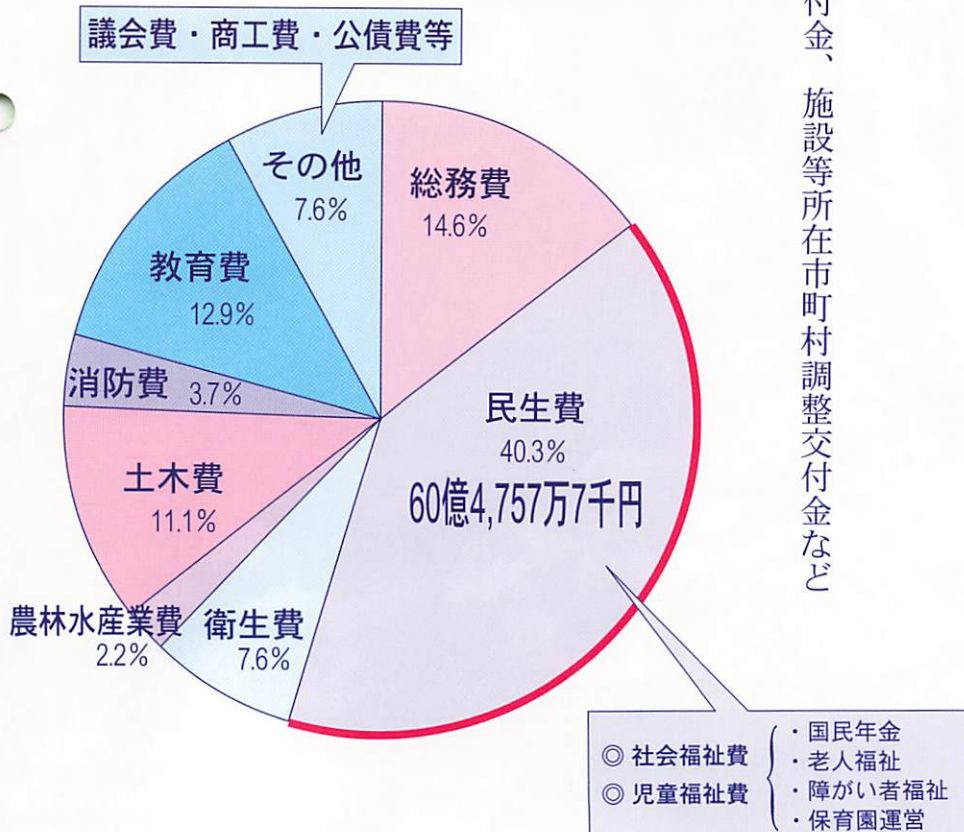
撮影:上地利枝子委員
 撮影場所:絆カンナ通り

私たちの税金！！

歳入



歳出



令和3年度一般会計予算が3月定例会において認定されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は150億2千254万4千円で対前年度比1億4千695万3千円(1.0%)の増。自主財源は対前年度比2億5千784万円(4.0%)の減。また依存財源は対前年比4億479万3千円(4.8%)増。

※自主財源
村が自主的に収納することができる財源で村民税・固定資産税など

※自主財源における「その他」とは
分担金及び負担金・使用料及び手数料・寄付金・繰越金・諸収入

※依存財源
国・県からの補助金や交付金など

※依存財源における「その他」とは
地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金、地方消費税交付金、施設等所在市町村調整交付金など

このように使われます

予算のここに注目！

総務常任 委員会では

- ◎一般会計予算歳入全般及び歳出分割
審査分
- ◎防災無線のデジタル化に向けて本年
度中に整備予定

建設経済 常任委員会では

- ◎歳出分割審査および特別会計付託分
- ◎村道大木喜名線整備事業の大幅増など
- ◎特別会計は上下水道会計（公営会計）

文教厚生 常任委員会では

- ◎歳出分割審査および特別会計付託分
- ◎新規に診療所運営事業がスタート
- ◎特別会計は・国民健康保険・後期高齢
者医療

特別会計予算

国民健康保険特別会計	50億4,042万 4 千円 (1.5%減)
後期高齢者医療特別会計	4 億7,504万 1 千円 (4.7%増)
下水道事業会計支出予算(公会計)	6 億4,379万 7 千円 (19.2%増)
水道事業会計支出予算(公会計)	11億5,551万 6 千円 (微増)
合 計	73億1,477万 8 千円

生活環境課

防犯カメラ設置事業1,000万円、
令和3年度事業10基予定

地域の防犯環境の向上及び児童、
生徒の安心・安全の確保を図るため
小中学校通学路へ街頭防犯カメラを
設置する。



教育総務課

村内全小中学校にタブレット端
末が導入された。

ICT教育の更なる推進に期待し
たい。

都市計画課

読谷補助飛行場跡地『大木地区』崖地対策事業

【事業概要】

国道等整備に先立ち崖地法面の整備を行うことで大木地区区画整理事業や国道整備といった土地利用を促進し、読谷補助飛行場跡地の振興を図る。

事業期間:令和元～3年度

総事業費:3億6,492万4千円
(うち2億6,348万3千円)

【目的】

読谷補助飛行場跡地(大木地区)
の土地利用活用を促進する。

【成果目標】

区画整理地の開発可能区域増:
約16,792m²





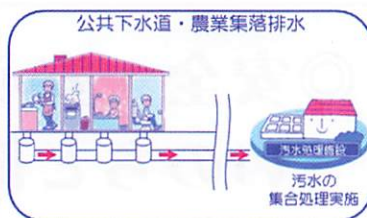
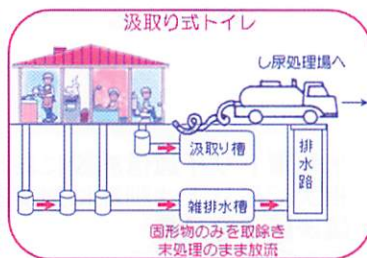
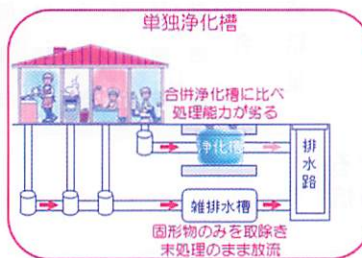
水道事業

既設水道管のメンテナンスとして、県道6号線の大添バス停付近からトリイ通信施設前までの配水管布設工事を実施する。工事期間中のご理解・ご協力を！

(8月工事開始予定)

下水道事業

本年度より浄化槽から下水道へ切り替える世帯に対し接続補助金の見直しを行う。切り替え工事を行う住民負担を軽減することで接続率の向上を図り、生活環境の改善や自然環境の保全に務める。



読谷村診療所

本年度から診療所が指定管理制度に移行しました。

指定管理期間

自 令和3年4月1日

至 令和8年3月31日

抗議決議・意見書

◎米陸軍トリー通信施設における相次ぐ
吊り下げ訓練に対する
抗議決議・意見書

賛成多数で可決!

件名	議席 氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		與那覇 徳雄	仲眞 朝雄	大城 行治	山内 政徳	上地 利枝子	當間 良史	津波古 菊江	城間 正輝	山城 昌邦	松田 宗則	長濱 嘉幸	比嘉 嘉栄	神谷 嘉栄	上地 正彦	松田 眞武	伊佐 真弓	城間 真和	國吉 雅和	伊波 篤
◎米陸軍トリー通信施設における相次ぐ吊り下げ訓練に対する抗議決議・意見書	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

◎安全・安心の医療・介護の実現と国民の
いのちと健康を守る
ための意見書

全会一致で可決!

※国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記事項を要請する
記

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。
ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

◎沖縄本島南部地域からの土砂採取計画の断念を求める意見書

賛成多数で可決!

令和2年9月8日沖縄防衛局の「設計変更承認申請書」が公表され、今なお多くの戦没者遺骨が残る南部地域が新基地建設「埋め立て用土砂」の供給地として計画されていることが明らかになった。

沖縄県南部地域は、沖縄戦跡国定公園に指定されているとおり、先の大戦で激戦地域となり、多くの一般住民等の尊い命が奪われた。

戦後76年を経過した現在まで遺骨収集は続けられ、同地域には、戦没者の発見されない遺骨が未だあることは明らかな事実である。

新基地建設に対する賛成、反対の立場を超えて、祖先を崇敬し親愛の情念が深く、死者の魂の安らぎを大切にする県民の思いからすると遺骨を含んだ土を埋め立てに投入、使用することは許されることではない。これは県民に共通する心性であり、死者への礼節である。

したがって読谷村議会は、立場の違いを超え、沖縄の精神文化と人道を重んじる立場から、下記の事項を強く要求する。

記

- 1 沖縄本島南部地域からの土砂の採取計画を断念すること
 - 2 「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」の趣旨に準じて、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月31日沖縄県読谷村議会

件名	議決結果	議席																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		氏名	與那覇 徳雄	仲 眞 朝雄	大 城 行治	山 内 政徳	上 地 利枝子	當 間 良史	津 波 古 菊江	城 間 正 輝	山 城 昌 邦	松 田 濱 宗則	長 濱 嘉 幸雄	比 嘉 神 谷 嘉 栄	上 地 正 彦	松 田 伊 佐 眞 武	城 間 眞 真 弓	國 吉 雅 和	伊 波 篤 篤
◎沖縄本島南部地域からの土砂採取計画の断念を求める意見書	可決		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

反対討論



長 濱 宗 則

本案件は人道的立場から極めて重要な案件だからこそ、関係機関からの情報収集や、事実確認をしっかりと行うべきであり、審査するには時期尚早である。県議会でも事実確認が行なわれており、事業所からの聞き取りもあるということです。その結果に基づいて判断するべきである。よって意見書第4号に反対します。



比 嘉 幸 雄

本島南部地域の埋め立てに用いる土砂等の採取場所は調達可能な土砂の供給業者の委託調査で出てきた数値であり、地域の業者が供給できる数値を表している。採掘業者の話として「根拠のない情報が出回っている」鉾山内で見つかった遺骨について、大戦の戦没者との結果は出ておらず戦没者の遺骨という根拠がないのに「血が染み込んだ土砂」と言われている。出荷するのは表土の部分で、遺骨が混ざる事はないと主張している。以上のことからこの意見書は正確な調査が必要と考えられることから反対します。

意見書への賛否両論

賛成討論



与 那 覇 徳 雄

南部地域一帯には、いまだに多くの戦争犠牲者の遺骨が眠っている。戦没者の遺骨などを含む土砂を辺野古新基地建設に使用することは、犠牲者の遺族や体験者の心を深く傷つけるものであり、断じて容認できない。直ちに非人道的な土砂採取計画は、断念すべきである。県民の共通の思いと立場を超えて、意見書に賛成します。



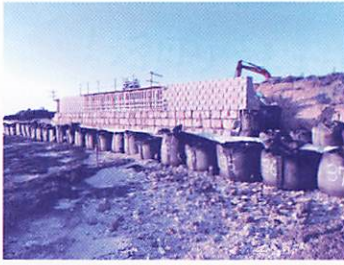
城 間 眞 弓

私たち政治家は、常に国民の痛み寄り添って、政治の道を正していく責任がある。凄惨な沖縄戦の激戦地から戦没者の遺骨が混ざった可能性の高い土砂を埋め立てに使うことは、県民の心情への寄り添いも配慮もなく、戦没者とその遺族も冒瀆するものである。人道し、理論上からも平和を希求する沖縄の「こころ」からも断じて許せない。よって、意見書第4号に賛成します。



上 地 利 枝 子

沖縄は多くの犠牲者の尊い命を奪った地上戦を経験しており、特に南部一帯は避難民と敗走する守備軍の入り乱れる戦場と化し、そこには遺骨の破片が散乱して、今でもボランティアの方々による発掘作業が行われている。よってその地域からの土砂採取計画を断念し「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」の趣旨に準じて、戦没者遺骨収集を要望し賛成討論とします。



トリー通信施設の護岸工事の進捗状況

うえち さかえ
上地 榮**問 新型コロナウイルスのワクチン接種は**

答 接種時期は政府発表の4月12日から高齢者への優先接種に向け取り組んでいる。接種方法は村内医療機関における個別接種と読谷村体育センターでの集団接種を予定している。

問 SDGs（持続可能な開発目標）の本村の取り組みは

答 国の第二期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、同改訂版を考慮した計画策定を令和3年度まで引き続き取り組む。

問 （仮称）読谷村総合情報センターとは

答 官民連携の手法を導入して建設するもので規模は約3180㎡（約1000坪）である。財源及び民間資金の活用を予定しており、令和4年4月より設計に着手し、令和7年度中の竣工を計画している。

問 現在の農業推進課を分離し、「農業・知産地笑推進課」と「農地活用推進課」を設置する理由とその職務内容は

答 理由は更なる農業分野の体制強化と円滑な農業施策執行のためである。職務内容は前者が農業団体の育成指導やJAゆんた支店と連携を強め農産物の安定生産を図る。後者は農地関連法令に基づく農地の適正管理を基本とし、農地の有効活用を図るものである。

問 トリー通信施設の護岸工事の進捗状況

答 当初、令和2年3月末工期を予定していたが、設計時と現地の地盤条件が異なったことで令和4年度の完成を予定している。

問 県道6号線の渋滞対策は

答 平成28年度にトリー基地前交差点において右折車線を設置して直進阻害の軽減を図ってきた。今後は古堅小学校前交差点の渋滞対策工事について、県が令和4年度に着手予定とのこと。大添バス停付近からトリー基地までの排水管布設工事については村民への広報を行うとともに工事時間も配慮したい。

おおしろ ゆきはる
大城 行治**問 村財政から見た議員報酬の在り方**

答 令和元年度の経常収支比率は84.9%と悪化している。また、コロナ禍が村財政に及ぼす影響は、村税の伸びが低調に推移、県交付金、施設使用料等減額の見込みとなっている。今後、大規模事業を予定しているが歳入と歳出のバランスが大きく崩れることが予想される。

*このような状況下、私は今、議員報酬を引き上げるべきではないと考える。次期議会議員において、さらに村民と熟議を重ねてからでも遅くない。

問 沖縄県において「中学進路未定者」が過去10年間で4,081人に上るとの報道がある。読谷村は？

答 両中学校で平成27年度7人、平成29年度5人、平成30年度10人、令和元年度5人である。

問 （仮称）読谷村総合情報センターとは

答 情報センター（図書館機能・村史機能・行政文書保管機能・青少年センター機能）を核としたにぎわいの創出を図ることを目指している。村としては、官民連携の一つであるPFI方式での事業を考えている。役場南側に図書館を中心とした新たなまちづくりを目指している。村内の事業者においては、特別目的会社（SPC）を立ち上げ、それに参画してほしい。商工会とも何度か話し合っている。村内の民間の皆さんにもぜひ頑張ってほしい。

問 プレミアム電子商品券（よみペイ）について

答 利用状況、2月末現在、村内大手スーパーは70%の利用率。感染症対策推進宣言の店の利用率は20%となっている。



(仮称) 読谷村情報センター予定地

ながはま むねのり
長濱 宗則

東日本大震災から3月11日で10年になるが読谷村の地域防災計画の進捗状況について

問 自主防災組織が結成された自治会は

答 長浜、渡具知、大添、都屋、楚辺の5自主防災組織となっている。

問 自主防災会未結成自治会への取り組みは

答 行政事務連絡協議会で自主防災組織の必要性、結成について随時行っている。

村民が多く集う憩いの場、村史編集、文書保管、青少年センター等の施設(仮称)読谷村総合情報センター整備が計画されている。事業方式について説明を求める

問 PFI方式を採用した経緯の説明を求める

答 本村の財政負担の低減、民間による公共サービスの質の向上、一括発注による建設期間の短縮のメリットで採用。

問 PFI方式だと、地元企業の事業参加が厳しいと言われているが村としての考えは

答 プレゼン方式を導入するので村内企業も同じ土俵に乗ってもらいSPCの中に入って事業を組み立ててもらいたい。PFI方式は今後も続くと想定される。村内事業者も設計、建設、維持管理の分もできると想定。ぜひ村内事業者もスクラムを組んで事業に参加してもらいたい。読谷村の事業だけではなく、村外の事業にも取り組んでももらいたい。

改正地方税法で新しいふるさと納税制度がスタートした。これにより過度な返礼品は還元率を3割以下、地場産品以外は返礼品としない制度になるが読谷村の取り組みは

問 令和3年度の寄付目標額と広報活動

答 2億3,000万円と予想している。寄付者へのお礼にメッセージ映像、カードを作成している。



バス停が期待される、伊良皆北交差点付近

ひが ゆきお
比嘉 幸雄

問 読谷村軍用地等地主会より「軍用地に係る固定資産税の軽減措置について」の要請があり、村当局は12月17日に回答している。なぜ当日の回答になったか説明を求める

答 要請内容を精査し、関係法令の確認を行い決裁後回答した。

問 この要請は同時に議会へも陳情されており、12月18日に本会議にて採択された。議会採択後に回答すべきではないか

答 結論が出たその日をもって回答した。

問 読谷村公営墓地の整備進捗状況を伺う

答 墓地候補地の選定調査を行っている。

問 公営墓地はいつ頃作れるか

答 令和3年度で候補地の決定、財源的なことも含め調査計画していきたい。

問 防衛局から「嘉手納弾薬庫内に所在する墓の取り扱いに係る説明」の内容を伺う

答 嘉手納弾薬庫において、米側が多数の墓の建立を確認。早急な対応を求められた。

問 墓をどうしたいのか

答 今ある墓を撤去していきたい。

問 防衛局の要請者に対し村側の説明は

答 契約関係上、役場は何も言えない。

問 役場は地主と防衛局の間には入れないのか

答 防衛局は地主とも意見交換をしながら臨んでほしい。

問 国道58号伊良皆北交差点へのバス停留所設置に関してその後の進捗は

答 バス停留所設置場所選定に伴う許可基準などの確認を行っている。

問 バス停留所は出来る？出来ない？

答 設置に向けての調整はしていきたい。

問 渡具知海岸へのホテル建設進捗状況(現在の状況、申請許可が順調にいった場合の完成期間)の説明を求める

答 現状で、申請には至っていない。

くによし まさかず
國吉 雅和

問 新型コロナウイルスワクチン接種は国民の努力義務で費用は無料である

答 事前に接種券と予約票を対象者へ送付。その後、各自予約を電話やLINEで取り、村内医療機関や集団接種会場で接種する。

問 接種予定人数は

答 医療従事者 1,250人
65歳以上の高齢者 9,864人
60～64歳までの方 2,546人
16～59歳までの方 17,810人

問 村立診療所は4月1日より指定管理

問 石嶺村長の思いを伺う

答 村内の医療環境も大きく変化し高齢者の増加を迎えるなかで、山城医師と多鹿医師が法人を設立。村民サービスの提供に尽力していただけるものと期待している。

問 屋内運動場（ドーム）の施設整備について

答 ドームは令和4年度に実施設計、令和5年から7年度に工事。また、多目的広場の人工芝化、テニスコート、陸上競技場周辺環境整備を令和11年度までに整備する。

問 学校防災の水準達成について

答 学校では避難訓練を実施し、課題は学校のみでの対応では困難であり、関係機関とも連携しながら取組を推進する。

問 沖縄県立特別支援学校誘致について

答 美咲特別支援学校の定員250人に対し1.5倍の375人在籍、はなさき分校は1.7倍の150人が在籍している現状である。大幅に定員を超えている状況から中部地区での新設方向が示されている。

問 村在住の幼児児童生徒数と通学方法は

答 生徒数36人でスクールバスでの利用と保護者の送迎による方法があり、所要時間は約1時間30分である。

問 古布収集事業について

答 収集体制ができれば事業を展開したい。



東原遺跡に説明板の設置を

いさ しんぶ
伊佐 眞武

問 地域振興センター東側駐車場について

問 当駐車場はコーラル舗装であり、大雨の時は排水が追い付かずパレットを置いて道路代わりにしている状況である。抜本的な改善が図れないか

答 応急的な処置としては区画整理とか含めてコーラルが多く出ているので関係課と調整してそれがもらえるのであれば勾配工夫も検討していきたい。

問 当駐車場が地域振興センターの職員駐車場として位置付けが見直されているのであれば正式な駐車場として整備すべきでは

答 ロードパークは長期的な整備計画であり、職員駐車場として早急にやる必要があるなら関係機関と調整し、雨水排水の処理等、諸々の協議調整を整えた上での整備開始になるのかと考えている。

問 渡具知東原遺跡について

問 1975年と1977年の発掘調査の結果、どのような土器が発見され、どのようなことが考古学的に証明されたか

この遺跡がいまだ国、県の史跡指定を受けてないのはどういう理由からか

答 当時の発掘調査の成果として、約7000年前の瓜形文土器や約5000年前の曾畑式土器などが発見された。これにより3500年前が最古とされた沖縄の土器文化は大きくさかのぼるとともに、源流は本土の縄文文化に由来することが証明された。

史跡指定に当たっては遺跡だけでなく遺構を確認する必要もあるが、年々増加する村内遺跡の緊急発掘調査を抱え続けている状況の中、さらなる調査に取り組めていないのが現状である。

問 現地にモニュメントを建ててはどうか

答 調査いかんによって地権者の意向も踏まえながら検討すべき事項かと思う。

ふるさと納税寄付金の
使い道



まつだ まさひこ
松田 正彦

国の第3次補正予算から

- 問** 今回の地方創生臨時交付金額は
- 答** 読谷村の配分額は2億438万7000円である。
- 問** 今回の配分額の内訳は
- 答** コロナ感染症対応分で5776万6000円、地域経済対応分で1億4662万1000円である。
- 問** 具体的な事業施策、項目は何か
- 答** 今後の感染状況と経済活動の動向を踏まえ、臨時交付金の活用を検討中。
- 問** 2月の交付金でスピード感がないのは
- 答** 新年度予算3次分を組んで、臨時議会か、6月議会で予算を計上予定。
- 要望** 飲食店だけではなく、幅広い事業継続支援事業を検討し、予算を計上してほしい。施策事業を期待する。

ふるさと納税について

- 問** 令和2年度直近の納税額は
- 答** 令和3年3月16日で、2億6044万5000円。
- 問** 大幅な伸びの要因は何か
- 答** 返礼品の充実、ポータルサイト増、マスメディアに読谷村が紹介され、認知度が上がったのが伸びの要因である。
- 問** 直近のポータルサイト掲載手数料額は
- 答** 6サイト全体で、1283万9466円である。
- 問** 将来的に、村と村内事業者との共同サイト設立は可能か
- 答** 設立と運用に係るコストや情報の更新、セキュリティー対策、事務的負担があり、設立は考えていない。
- 問** 県内納税額上位5位の市町村と金額は
- 答** 那覇市12億4129万800円、恩納村6億2751万8000円、豊見城市5億5127万3000円、宮古島市4億6848万4000円、八重瀬町3億744万5000円となっている。

村内防犯カメラ設置について

- 問** 令和3年度で防犯カメラ事業があるか
- 答** 児童生徒の安心・安全確保のため、小中学校の通学路への街頭防犯カメラ設置を予定している。



早く補修を！
「ゆるみ」が指摘される
二の郭袋小路あたり



やましろ せい き
山城 正輝

ワクチン接種→高齢者4月12日以降！

- 問** 接種体制は、どうなっているか
- 答** 担当医と看護師は検討中。障がい者や1人暮らしの方への支援は、社協や関係機関と対応を検討する。

高齢者医療費2倍化撤回→関係者と連携！

- 問** 政府による75歳以上高齢者の医療費2倍化、2割負担導入撤回を要請すべきではないか
- 答** 県の負担増15.2%とした場合、644人が負担増、一人当たり年間2万円となる。県は、窓口負担の見直しについては、慎重に検討して頂きたいと要望している。村も連携を図り対応していく。

特別障がい者手当→周知強化、認定を！

- 問** 特別障がい者の負担軽減のため月2万7,350円が支給される手当の周知を強化し、認定を広げてはどうか
- 答** 令和2年の実績は、60人。「しおり」や「広報よみたん」に掲載している。

女性管理職登用→鋭意努力！

- 問** 登用率9.1%の現状や今後の目標をどう考えているか
- 答** 男女の差に関係なく、それぞれが十分に能力を発揮できている。目標値は、13%以上としている。

座喜味城跡城壁補修→注視、取り組む！

- 問** 城壁の「はらみだし」「ゆるみ」の補修を実施してはどうか
- 答** 3ヶ所あり、発掘調査などの進捗を見ながら取り組んでいきたい。

情報センターデメリット→慎重対応を！

- 問** 村総合情報センター建設のメリットとデメリットはどのようなものか
- 答** メリットは財政負担低減、期間短縮である。デメリットは手続きのコストと時間増、要求水準を満たさない時の時間や労力等は無駄になる。



瀬名波通信所跡地

かみや かえい
神谷 嘉栄

学校防災の水準達成

問 市町村へのアンケートで学校防災の水準達成が全国で45%であった。本村は「今後実施予定」とのことだが、理由を伺う

答 行政、地域、家庭、関係機関と連携体制に課題があり、その取り組みが求められている。

問 「今後実施予定」の概要説明を求める

答 災害発生時に学校が避難場所に指定されたり、学校のみでの対応困難を想定した関係機関連携の在り方、訓練の実施等を考える。

瀬名波通信施設跡地の今後

問 跡地利用推進へ向け村長の所信を伺う

答 令和2年度に瀬名波地区県営土地改良事業が採択され、瀬名波通信施設跡地に農業基盤整備事業を実施し、支援をしていく。

問 県営土地改良事業での連携機関を伺う

答 沖縄県中部農林土木事務所、長浜川土地改良区、瀬名波地区農業担い手育成畑総推進会と連携し、農用地としての整備の在り方や灌漑排水設備等の調整を図り実施設計、令和4年度から工事に着手、令和9年度完成予定。

「農業推進課」の分離後

問 「営農・知産地笑推進課」の名称の意図は

答 「知」知恵を出し合い「産」モノを産み出し「地」地元が盛り上がり「笑」笑顔あふれる地域づくりとして、6次産業など農業所得向上を目指す。

問 「農地活用推進課」の業務内容を伺う

答 耕作放棄地の解消、農地の基盤整備や有効活用推進のほか農業後継者対策を進める。

安全なワクチン接種の実施を

問 ワクチン接種体制の確保はどうか

答 全庁的な体制で接種体制構築に取り組む。

問 安全なワクチン接種に向けた留意点は

答 ワクチン管理責任者として薬剤師を配置し、専用機材によるワクチンの管理徹底を行い、村民へは基礎疾患やアレルギーの有無を医療機関で相談の上、接種していただく。



生ゴミ処理機
購入費1/2助成

めぞそう！
地球にやさしいむらづくり

つは こきくえ
津波古菊江

問 生ゴミ処理機購入費助成の実施

答 循環型社会の推進のため、家庭生ゴミの処理で堆肥化を目的とした「生ゴミ処理機」購入の助成を行う。堆肥化又は減量化する家電製品でバイオ式生ごみ処理機、乾燥式生ゴミ処理機が対象で購入価格の1/2以内で上限額3万円とする。対象者は村内に住所を有する居住者。助成金の交付期限はなし。

問 ファミリーサポートセンター法人化へ一般社団法人に移行してどの様に事業が展開されていくのか

答 一般社団法人スマイルの下でファミリーサポートセンター、古堅南小学校隣接の児童館、南学童、つどいの広場の4事業を行い子育て世代をサポートしていく。

問 アガリヌウガン、ウフグシク、メーダグシクと長田川沿いのグスク時代を調査、返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業の調査内容及び遺跡の詳細確認調査と周辺遺跡の試掘調査の説明を求める

答 大湾アガリヌウガン遺跡で確認されている柱穴の年代の再確認調査と鍛冶場跡も含めて古い時期にも遺跡として人の痕跡が認められ県内でも事例がない。更に次年度まで調査を進める。アガリヌウガン周辺大湾集落内に3つの遺跡、城があり渡具知の泊グシク、ヤクミグシクとの関連性も解明する必要がある。

「新しい生活様式」支援事業で村内事業所に衛生資材支援でコロナウイルス対策

答 対策事業所は1,200件だが2月末現在269件、予算執行率は43.4%。消耗品等の衛生資材の追加支援については村内対象の全事業所申し込みの有無に関わらず消毒用アルコール資材の配布を検討中。又、目標事業所300件については継続的に資材導入の支援を行っていく。



読中跡地に建立された記念碑

なかま あさお
仲真 朝雄

「読谷中学校跡地」の石碑建立について

問 読中の沿革、石碑の詳細を求める

答 昭和24年の読谷中学校発足に当たっては、学校用敷地として24名の方、新運動場用地として31名から協力をいただいている。その方々へは創立50周年記念誌にお名前を記すとともに記念式典において感謝状が授与された。平成25年度読谷中学校「未来・夢」実現委員会総会で石碑建立に向けた取り組みが承認され、事業費の積立て等の取組みを経て建立に至った。石碑建立の主旨は「多くの卒業生を輩出した校舎とそこで学んだ思い出をこの地にとどめるため」「開学当時、校舎の土地を提供された方々の真心に対し感謝の気持ちを忘れずに後世に引き継ぐため」となっている。

(教育長)「この地に母校があったというモニュメントを造ってほしい」という多くの声に応え、読中校舎跡地の石碑が建立されたことは教育長としてこの上ない喜び。尽力いただいた皆様に深い感謝と敬意を表す。

ヘルプマークの普及促進を望む

答 内部障がいや発達障がい、難病、妊娠初期等、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としている事を知らせるために身につけるもの。本村では3年間で80名に配布。ヘルプマークは障がい者手帳を保持してない方にも配布可能。

外見では健康に見えても内部障がいで疲れやすい方等が支援を受けやすくなる効果が期待される。配布が始まり3年が経過した。今後も広報よみたん、役場窓口等により周知を図っていく。

日常生活から、取り組もう避難所

うえち りえこ
上地利枝子

交通安全対策の現状と課題

問 村道中央残波線へ街灯設置を早急に

答 村道中央残波線は約3.5キロで新たに電柱設置が必要になるため財政的に厳しい。

問 波平東門交差点への信号機設置は

答 信号機設置について嘉手納警察署から沖縄県警察本部へ上申しているが、設置のめどは立っていないが引き続き交渉していく。

読谷村地域防災計画の中から

問 村に33ヶ所ある避難所での具体的な取り組みと運営体制はどうなっているのか

答 被災者自らが行動し、助け合いながら避難所を運営することが求められている避難所運営組織を中心に、村民、自主防災組織、避難所の施設管理者、村職員が円滑に連携を図りながら運営していく。

問 避難所の環境整備については、個々人の状況に対応する為には、プライバシーの確保及び男女の違い等に配慮する為の具体的な取り組みが必要だと思うがその対策は

答 要配慮者や男女の違いに留意して、パーテーションの配置や要配慮者専用スペースを設ける等プライバシーの確保に取り組む。

提言 避難所運営委員会を立ち上げ、避難所の生活では女性、子供、高齢者の課題が大きいので、多数の女性委員を登用していただきたい

男女共同参画社会の現状

問 女性管理職登用を！本村の考えは

答 管理職については男女差に関係なく能力等を鑑みて登用している。女性の働きやすい環境を整えることについては、休暇制度の充実、育児休業、上位職への昇進に伴う業務遂行に係る心理負担軽減を図るため職員心理相談実施等の環境づくりに努める。



動物の遺棄、虐待は犯罪です。

とうま りょうじ
当間 良史

近年人々のライフスタイルが多様化し、ペットを飼う人が増え、ペットに対する意識も、これまでの愛玩動物から伴侶動物へと変化してきている中、本村の動物愛護を問う

問 過去5年間の保護及び殺処分数は

答 文書保存期間の3年間のデータでは平成29年度保護件数36件、殺処分ゼロ 平成30年度保護件数37件、殺処分ゼロ 令和元年度保護件数32件、殺処分ゼロとなっている。

問 平成29年から令和元年まで殺処分ゼロは素晴らしい数字であるが、保護件数が

毎年30頭以上いるが、その対応と殺処分ゼロの活動内容は

答 令和2年度を例に挙げると保護犬31頭中、飼い主への返還が22頭、残りの9頭をボランティア団体へ譲渡している。

問 もし飼い主が見つからず、またボランティア団体へ譲渡出来なかった場合は

答 センターに送られた場合ホームページ等で情報開示して飼い主及び引き取り手を探す呼びかけを行っているが、見つからない場合は一週間で殺処分となる。

問 村内のボランティア団体の活動内容は

答 犬のボランティア団体と猫のボランティア団体があり、SNSやFMよみたんでの情報発信や動物たちの保護、TNR活動などを行っている。

問 本村では「読谷村犬取締条例」を制定しているが罰則はあるか

答 第3条に飼主が守らないといけない義務が明記されておりこれに違反した場合は3万円以下の罰金などの罰則がある。

問 TNR活動とはどういったものか

答 TNRとはトラップ、ニューター、リターンの略で捕獲後避妊手術を行い保護した場所に還す活動である。

性的多様性の尊重に先進的な浦添市。今年2月にガイドブックも作成!!

しろま まゆみ
城間 真弓

村づくりの根幹となる2021年度の施政方針と主要施策について

問 コロナ禍による本村の税収と財政への影響、見通し、対策は

答 新型コロナの経済へ及ぼす影響により、経済の伸びが鈍化、又は減少に転じると見ている。中長期的な財政見直しを立てた上で、住民サービスに影響が無いように対応していきたい。

新型コロナワクチン接種について、透明性をもち、個人の尊厳が大事にされる対応を

問 ワクチン接種を村民の皆さんに案内するにあたり、安全性、有効性、副作用等のリスクをどのように周知するのか

答 各種広報媒体を活用して周知し、対象者の16歳以上の方には接種券の送付の際にワクチンの安全性、有効性、副作用等を記載した説明資料を同封する。特設会場での接種の際にも丁寧に説明できるように人員配置を行っていきたい。

(提起) ワクチン接種において、透明性をもって情報を提供すること。又、接種の判断においては個人の尊厳を最大限に守ること。

一人ひとりが輝く性の多様性を尊重する村づくりへ

問 県と連帯し、性の多様性を尊重する「ゆんたんざレインボー宣言」を掲げる考えは

村長 誰もが自分らしく幸せに生きるということについてもっとよく考えたい。具体的に行動するような指針は持ち合わせていない。男らしく、女らしくもあれば中間もあるということで、男のカチャーシーはグーで、女はパーで、そしてチョキで踊ってもいいよね、とよく言っている。色々な立場の人と、色々考えて一緒に取り組みたい。

(提起) 性の多様性について、村は真剣に向き合い、根本から学ぶことが急務である。



老朽化した古堅南小学校の校舎改築計画が行われている



しろま いさむ
城間 勇

問 古堅南小学校校舎新增改築事業について

答 仮設校舎は令和3年度に運動場の中に建設、新校舎は令和4年度から令和5年度に建設し令和6年から使用する予定、基本計画では44億円の概算事業費を想定、国からの補助金約15.1億、県からの交付金約0.4億円、村負担額約28.5億円を想定、補助率は国、県合わせて約35%を見込んでいる。

問 運動場からの土ぼこり対策について

答 防塵ネット、散水用スプリンクラーの設置を予定、既存の樹木を残すような施工、建築を計画している。

問 児童が登下校する正門の配置計画は

答 新校舎の建設では正門の位置は県道16号線に接する南側に計画している。

問 防犯の取り組みとして通学路、公共施設への防犯カメラ設置について

答 令和3年度小中学校の通学路へ約10台設置する予定、令和4年度約10台予定。

問 通学路や公共施設、公園等に防犯カメラの設置に向けての課題は

答 街頭防犯カメラを設置する際は、プライバシー保護の観点から、撮影する画像の適正な管理及び運用を行うことが重要。

問 各自治会にも防犯カメラの設置に関して、助成等支援の検討は

答 各自治会と意見交換して意見を聴取していきたい。

問 泊城公園の崖崩れ対策について

答 現在、令和2年度泊城公園崖地対策実施計画委託業務に取り組んでいる。設計業務において関係機関との調整等により、仮設道路及び護岸の計画が必要となったため、繰越を行い、事業採択および工事期間等においても、国や県と調整中である。



やまうち まさのり
山内 政徳

問 円滑なワクチン接種へ本村の取組はどうなっているのか。どういう検討がされ、どんな課題があるのか

答 国の示す4月12日から高齢者優先接種開始時期を踏まえ、体制確保につとめている。課題としては、今回のワクチン接種が国民の協力義務であることから接種者の想定が難しいことが考えられる。

問 ふるさと納税について、さらに伸ばすための課題は

答 寄付者にとって魅力的な返礼品を提供することは寄附を集めるための要因の一つになっており今後引き続き魅力がある返礼品の開発や返礼事業者の開拓、新規ポータルサイトの増設に取り組むとともに寄附の使い道やお礼のメッセージ等寄付者とのコミュニケーションの強化に取り組んでいく。

問 ノーベル平和賞を夢見る村民基金の収益を伸ばす為の課題は

答 国債から生ずる年率0.3%の運用益75万円を上げているところ。今後も市場動向等を注視しつつ証券会社から助言も受けながら適切なタイミングで売買も含め、運用を行っていく。

問 下水道整備や持続に関して政策の変更があるのか

答 具体的には、補助金の上限を合併浄化槽からの切替工事については20万円に、単独浄化槽からの切替工事について25万円にそれぞれ増額し交付する。

奨学金返済肩代わり制度について、内容の説明を求める。

答 本村で同制度を活用することはできない。活用するためには地方創生総合戦略、ゆたさむら推進計画への位置づけを検討していく。



ペットボトルの新たなリサイクルの取り組みを!



まつだ まさくに
松田 昌邦

問 SDGsを基にした脱炭素社会の実現とは

答 持続可能なむらづくりに取り組む。

問 読谷村総合情報センターの動向調査

答 村のHPで公表した実施方針及び業務要求水準書で本事業への参入意欲を確認するもの。

問 屋内運動場の整備について

答 今後、まちづくり構想策定支援事業において施設整備計画、管理運営計画などを取りまとめる中で村民の利便性やニーズについても反映されていく。

問 循環型社会の推進に向け資源ごみの新たな取組の可能性はあるか

答 家庭生ゴミの堆肥化または減量化に向けて生ごみ処理機の購入助成を行う。

問 プラスチックゴミのリサイクルの取組は

答 村ではペットボトル以外は焼却処理をしている。再資源化に向け調査を行いたい。

問 気候変動による豪雨被害や台風被害による農作物の品不足解消に野菜工場の活用を

答 企業などからの相談があれば積極的に推進したい。

問 遊休農地の集約化と軽油取引税の利用実績は

答 本年8地域で人・農地プラン策定予定軽油取引税の課税免除実績は令和元年度の中堅実績は19経営体。

問 ICT教育の実施に向けて

答 使用マニュアルやルール作成、サポートのため支援員の配置を行う。

問 SDGs推進むら、再生エネルギーのエコ村宣言の考えは

答 現在、宣言は考えてないが、第2期ゆたさむら推進計画との関連から調査研究を行っていく。



防犯灯未整備（伊良皆地区）



よなは のりお
與那覇徳雄

問 不登校卒業者の支援とひきこもり対策は

答 青少年センターに相談があるケースや関係機関からの情報を得て対応するが、不登校卒業者のひきこもり対策はない。

問 ひきこもりがちな10代対象に、生活支援や登校、進学、就職等、自立に向けサポートする「若者の居場所」設置が必要だが

教育長 相談があれば対応できるが相談がなければ手だてがなく課題と考える。生徒の発達段階に即したキャリア教育、進路指導を一層充実させていくことが不登校卒業生、ひきこもりの対策の一助になると考える。

問 文化財保存活用地域計画策定の取り組みは

答 調査業務、保存、指定業務をこなしながら改めて地域計画を進めるべきと考える。

問 住民の意見を反映する協議会の設置は

答 地域住民、学識経験者、観光等、都市計画関連も含めた総合的な計画作成が必要。

村道伊良皆波平線の防犯灯設置について

問 路線は高校生の通学路として利用され車両で送迎する保護者から危険との声があるが、通学路として想定してなかったのか

答 道路照明灯は設置。防犯灯の設置は検討したが、通学路としての認識はなかった。

要望 補正予算を組み早めの防犯灯設置を

問 生活困窮者対応として、地域福祉振興基金を活用した給付が取り組めないか

答 各種補助事業等の制度により対応する。

問 基金を運用し無償の食事を提供、食に困っている方々の状況把握に努めることで、支援の輪も広がり福祉の推進も図られるが

答 実態把握は必要だと認識。社協でフードバンクを渡す際に、声掛け、地域支えあい活動の中で困り感の把握に努めている。

問 防災士を養成し、自治会に派遣しては

答 養成を行っている自治体を調査、防災訓練等に、防災担当者を派遣している。

交付の現状

村長に申請し、月額1万5千円×12ヶ月＝最大年間18万円が交付されます。

令和2年度交付総額が1,350,000円。使われた額222,316円。使途は基準が定められていて、残金は返還します。

使途の明確化と開示

政務活動費を使用した場合は収支報告書、領収書等のコピーを提出します。

それらは5年間保存されており、閲覧または、コピーの交付を請求できます。

評価と課題

先進地調査や政策研究に取り組みやすくなり、一般質問などへのフィードバックが見られるとの評価があります。

一方、議員からは、もっと使い勝手のよい制度を求める声や制度そのものを廃止すべきとの意見も聴かれます。

また、さらなる透明性の確保や、HPでの情報開示を求める村民の声もあり対応が求められています。

※政務活動費についてのご質問、疑問点など
議会事務局までお問い合わせください。

地方議員の調査その他の活動に認められた経費です。
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により県外研修や勉強会への参加が無く、また後期分の減額を早期に決定していたため返還額が多く見られました。

政務活動費とは

令和2年度政務活動費収支報告

氏名	使 途								交付総額	残高 (返還額)
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	合計		
與那覇 徳 雄					1,000		7,000	8,000	90,000	82,000
仲 眞 朝 雄	申 請 な し									
大 城 行 治		54,460			2,860		5,000	62,000	90,000	27,680
山 内 政 徳								0	90,000	90,000
上 地 利 枝 子								0	90,000	90,000
當 間 良 史								0	90,000	90,000
津波古 菊 江					9,972			9,972	90,000	80,028
城 間 勇								0	90,000	90,000
山 城 正 輝	申 請 な し									
松 田 昌 邦					7,300	6,442	11,169	24,911	90,000	65,089
長 濱 宗 則								0	90,000	90,000
比 嘉 幸 雄					1,000		7,000	8,000	90,000	82,000
神 谷 嘉 栄					1,000		7,000	8,000	90,000	82,000
上 地 榮		75,604			1,000		16,509	93,113	90,000	0
松 田 正 彦								0	90,000	90,000
伊 佐 眞 武	申 請 な し									
城 間 真 弓					1,000		7,000	8,000	90,000	82,000
國 吉 雅 和	申 請 な し									
伊 波 篤								0	90,000	90,000
計		130,064	0	0	25,132	6,442	60,678	222,316	1,350,000	1,130,797

※交付総額より使用額が多い分は自己負担としています。

総務常任委員会

◎総務常任委員会 閉会中継続調査

「企画政策行政に関する事務調査」

平成20年度より取り組まれている「ふるさとづくり寄付金」事業は平成30年度より増額傾向にある。今後更なる事業展開の可能性などを含め現状、課題などの調査を行っている



人気のジンバイザメツアー

文教厚生常任委員会

◎障がい者の現状と課題について

障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して制定された「障害者自立支援法」を背景に、新たに設立された『読谷村地域自立支援協議会』の5部会から、サービスの提供状況、課題点などを聴取し意見を交わしました。

この後、障がい者福祉団体の代表者らからお話しを伺い、委員会での分析、議論を経て報告書をまとめていきます。



建設経済常任委員会

「読谷村商工会からのコロナ感染防止協力金 対象拡大要望について」

4月

<要請書>

- 1、協力金の対象外で、なおかつ一時支援金では不足する事業者や同支援金から漏れる事業者に村独自の支援の要請
- 2、上記にかかる予算が村に無い場合は、村から県へ協力金対象外の事業者への支援を要請
- 3、協力金の不公平（定休日への支払い不正受給）を正すよう県へ要望

読谷村商工会より「新型コロナウイルス感染 防止のため営業時間短縮要請に伴う協力金の 対象拡大の要望について」

5月

<要請書>

新型コロナウイルス感染拡大防止のために沖縄県より飲食業に対して、営業時間短縮の協力金が支払われており、対象企業においては非常にありがたい支援策ではあるが、一方、協力金に該当しない業種においては、国の一時支援金が提示されたのみとなっている。一時給付金は、時短協力金と比較すると少額であり決して満足のいく金額ではなく、また時短協力金にも、一時支援金にも該当しない業者も多くあり、この様な企業も経営の状況は非常に厳しいとの声が多く寄せられている。



商工会役員との意見交換

委員会としては、今後商工会会長とのヒアリングを通して、村、県への意見書を議論していく。

カンナ会

絆を大事に花々で通りを彩る(喜名)

喜名8班に、畑や空き地の外周2^キに渡り、色とりどりの花々で周囲の人々の眼を楽しませている通称「絆カンナ通り」と呼ばれる場所がある。この通りを手入れしている「カンナ会」がこのほど結成5周年を迎えた。

メンバーの當山宗仁さん(喜名)「2016年3月に隣近所の皆さんで周辺地域をよくしていきつつ、地域貢献できる事はないかと思いつき、さらに地域の絆も大切にしたいとの思いからカンナ会を立ち上げた。会の名前の由来は、生命力が強く綺麗な花を咲かせるカンナと、土



地を提供してくれた地主さんのうちの一人の名前(故・漢那朝章氏)をいただいたとの事。生前この地域の道路整備に尽力された漢那さんの思いとご近所皆さんの「絆」を大切にしていきたいと言つこととで名称を「絆カンナ通り」とした。メンバーの松田和子さん(同喜名)によると、「当初この場所はススキが多く生えておりペットボトルなどのゴミが捨てられていたが、カンナを植えるようになってからそういう事もなくなり嬉しく思っている。また、この通りは年中花が咲いているので、近くの保育園児や老人ホームの方々が花見に来てくれるのが嬉しい。」またメンバーからは、「元気が続く限り、みんなで仲良く、色々な花を植えて皆様に楽しんでいただきたいので、是非とも「絆カンナ通り」まで足を運んでいただきたい。」と笑顔で話した。



写真右から

當山宗仁さん
松田和子さん
當山シゲ子さん
石川良子さん
宇栄原ヒロ子さん
名嘉山光子さん
とお孫さんたち

表紙説明

喜名の「絆カンナ通り」に色とりどりに咲いているカンナの花です。

青い空に咲き誇っている花々は、地域で散歩する方々や他の市町村から見学に来る方々の癒しの場所になっています。

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ49名でした。

令和3年6月定例議会は6月8日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

(お問い合わせ)

議会事務局 TEL 098-982-9225